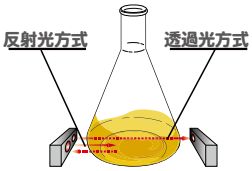
OD-Monitor B&L / BRシリーズ参考資料

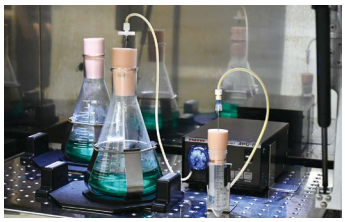
OD-Monitor B&Lは、大型三角フラスコ(1L～3L)でご使用いただけます。BR/NRシリーズと組み合わせて使用します。

OD-Monitor B&L
(ODSensor-L 1台接続例)

大型三角フラスコ
増殖具合の確認で(B&L)



三角フラスコの透過と反射光



型名	OD-Monitor B&L
測定方式／測定範囲	透過光／反射光方式、OD_{600}=0.00～9.99
適用容器および必要液量	ガラス製三角フラスコ：1/2/3L、液量：350/700/1000mL
振とう方法／振とう条件	旋回振とう、100～250r/min(振幅25/50mm)
測定間隔／チャネル数	1/5/10/30/60/120/240min、1～4チャンネル(B&L)(＊1)
測定可能温度範囲	+15℃～+50℃(＊2)
その他の機能	指定ODでアラーム、分光光度計値への合わせこみ、USBメモリ記録(CSV形式)、指定ODで別売自動ポンプユニット動作
本体質量	1.9kg(ODBox-B)、0.4kg(ODSensor-L)
価格(＊3)	ODBox-B：¥277,000、ODSensor-L：¥118,000(1台)
電源	100～125V 0.1A
ODSensor付属品	フラットケーブル(2m)×1、フラスコ架台(1L用)×1

(＊1)B&Lは、ODSensor1台で1チャンネルです。複数の試料を測定する場合はSensorを必要数お求めください。なお、組み合わせるバイオシェーカーの大きさによっては最大チャネル数のODSensorが取り付けできない場合があります。(＊2)使用環境温度範囲はOD-Sensor：+4℃～50℃、OD-Box：+15℃～+35℃です。(＊3)B&Lでは容器固定に別売のツメクランプが必要です。またODSensor-Lはバイオシェーカーのツメクランプ振とう台に固定します。

●オプション

品名／型名	備考	価格
ツメクランプ振とう台 MT-4030	BR-40/41/42/43/53シリーズでOD-Monitorシリーズを使う場合に必要	¥27,000
自動ポンプユニット APU-01	B&L用。ODBox-Bであらかじめ設定したODに到達した際に動作。IPTG自動添加やサンプリング等に使用可能。マニュアル動作も行えます。	¥166,000

手作業によるバックグラウンドの軽減

取り回しが不便で時間がかかる、大型三角フラスコのサンプリングによって生まれるバックグラウンドを低下させます。フラスコの庫外に出さないことで、培養中の細胞のストレスを減らすことが可能です。

面倒な作業を自動化。別売のAPU-01ポンプを併用すると、指定ODでの培地の添加やサンプリングが可能

別売の自動ポンプユニット[APU-01]と組み合わせることで、あらかじめ設定した濁度に応じてサンプリングや試薬の添加を自動で行うことができます。

ポンプを排出側にして、遠沈管などに受ける形にすれば、指定OD値でサンプリングすることも可能です。

※キャップ等についてはお問合せください。

参考資料：BRシリーズのプログラム機能について

小型・中型BRのコントロールパネル

大型BRのコントロールパネル

■プログラムの設定例：
37℃、振とう速度120r/min➡18時間後に4℃設定に移行して振とうを停止。
(帰宅時に培養を開始し、培養後に4℃で保持)
といった温度、速度、時間のプログラム設定が可能です。

設定できるアフターモード
- **プログラム終了後、最終設定の状態で継続運転 (Contモード)**
- **プログラム終了後、温調と振とうを停止させる (Endモード)**
- **プラグラム終了後、設定しているプログラムを繰り返す (rPEtモード)**

※大型BRにはrPEtモードがございません。
　また小型/中型BRでも販売時期により、rPEtモードが無い製品がございます。
※FM及びFHタイプは冷却を含むプログラムには対応できません。
プログラム運転は「RUN/STOP」キーを1秒以上長押しすることで開始します。
プログラム運転を終了する時は「ESC」キーを長押しください、通常モードに戻ります。設定しているプログラムをリセットする場合は、通常モードで「ESC」キーを5秒以上押します。

●ウェビナー OD-Monitor シリーズ● PC での記録について、分光光度計とのズレを補正する手順 更に詳しい情報は QR コードまたは https://taitec.info/2026b/47 にて
● 『バイオシェーカー BR』シリーズ➡ P.026 ～ 045 ●振とう機『NR』シリーズ➡ P.080 ～ 085